

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

① 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)	
資産の部				
流動資産				
現金及び預金		318,665		238,212
営業債権	※4, ※5	13,729,060	※4, ※5	12,501,831
リース債権及びリース投資資産		1,050,846		1,009,762
有価証券		613,977		644,051
その他		575,629		510,768
貸倒引当金		△153,434		△136,305
流動資産合計		16,134,744		14,768,321
固定資産				
有形固定資産				
賃貸資産(純額)	※4, ※5	4,304,113	※4, ※5	3,992,006
その他		9,337		7,962
有形固定資産合計	※1	4,313,450	※1	3,999,968
無形固定資産		33,967		32,954
投資その他の資産		882,489		787,698
固定資産合計		5,229,907		4,820,621
繰延資産		15,005		—
資産合計		21,379,657		19,588,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	694,913	769,910
1年以内返済予定の長期借入金	※4, ※5 1,792,594	※4, ※5 1,724,080
1年以内償還予定の社債	※4 1,847,214	※4 1,669,458
コマーシャルペーパー	3,623,684	3,410,463
その他	1,018,183	916,570
流動負債合計	8,976,591	8,490,484
固定負債		
社債	※4 6,022,555	※4 5,398,161
長期借入金	※4, ※5 3,082,854	※4, ※5 2,646,747
その他	1,123,988	974,407
固定負債合計	10,229,398	9,019,316
負債合計	19,205,989	17,509,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,525	78,525
資本剰余金	159,900	159,900
利益剰余金	1,886,139	1,984,035
株主資本合計	2,124,564	2,222,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,369	18,978
繰延ヘッジ損益	4,280	3,354
為替換算調整勘定	3,855	△183,356
その他の包括利益累計額合計	30,506	△161,022
非支配株主持分	18,597	17,704
純資産合計	2,173,667	2,079,142
負債純資産合計	21,379,657	19,588,943

② 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
売上高	940,643	866,080
売上原価	※ 2 605,996	※ 2 553,200
売上総利益	334,647	312,880
販売費及び一般管理費	※ 1 187,294	※ 1 179,069
営業利益	147,352	133,810
営業外収益		
償却債権取立益	11,134	10,464
持分法による投資利益	2,595	2,012
その他	1,065	1,971
営業外収益合計	14,795	14,449
営業外費用		
為替差損	528	928
その他	255	121
営業外費用合計	783	1,050
経常利益	161,364	147,209
税金等調整前中間純利益	161,364	147,209
法人税、住民税及び事業税	21,640	23,999
法人税等調整額	28,630	23,606
法人税等合計	50,271	47,606
中間純利益	111,093	99,603
非支配株主に帰属する中間純利益	1,253	1,707
親会社株主に帰属する中間純利益	109,839	97,895

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月30日)
中間純利益	111,093	99,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,583	△3,390
繰延ヘッジ損益	△121	△225
為替換算調整勘定	△38,503	△186,309
持分法適用会社に対する持分相当額	△524	△3,779
その他の包括利益合計	△48,732	△193,705
中間包括利益	62,360	△94,102
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	62,948	△93,632
非支配株主に係る中間包括利益	△587	△469

③ 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	78,525	159,900	1,653,419	1,891,845
当中間期変動額				
親会社株主に 帰属する中間純利益			109,839	109,839
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)				
当中間期変動額合計	—	—	109,839	109,839
当中間期末残高	78,525	159,900	1,763,259	2,001,684

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	32,866	2,306	145,408	180,581	19,112	2,091,538
当中間期変動額						
親会社株主に 帰属する中間純利益						109,839
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	△9,583	374	△37,682	△46,891	△955	△47,846
当中間期変動額合計	△9,583	374	△37,682	△46,891	△955	61,993
当中間期末残高	23,283	2,680	107,725	133,689	18,157	2,153,532

当中間連結会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	78,525	159,900	1,886,139	2,124,564
当中間期変動額				
親会社株主に 帰属する中間純利益			97,895	97,895
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)				
当中間期変動額合計	—	—	97,895	97,895
当中間期末残高	78,525	159,900	1,984,035	2,222,460

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	22,369	4,280	3,855	30,506	18,597	2,173,667
当中間期変動額						
親会社株主に 帰属する中間純利益						97,895
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)	△3,390	△925	△187,211	△191,528	△892	△192,421
当中間期変動額合計	△3,390	△925	△187,211	△191,528	△892	△94,525
当中間期末残高	18,978	3,354	△183,356	△161,022	17,704	2,079,142

注記事項

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数

48社

主要な連結子会社名

トヨタファイナンス(株)
トヨタ モーター クレジット(株)
トヨタ モーター インシュアランス サービス(株)
トヨタ クレジット カナダ(株)
トヨタ クレジットバンク(有)
トヨタ モーター ファイナンス(ネザーランド)(株)
トヨタ ファイナンシャル サービス(UK)(株)
トヨタ ファイナンス オーストラリア(株)
トヨタ リーシング タイランド(株)
トヨタ モーター ファイナンス チャイナ(有)

2 持分法の適用に関する事項

(イ) 持分法適用の関連会社数

8社

主要な会社名

トヨタ ファイナンシャル サービス サウス アフリカ(株)

和潤企業(株)

なお、当中間連結会計期間より、アドバンスド コネクティビティ(有)について、新規出資により持分法適用の範囲に含めることとした。

(ロ) 持分法適用会社のうち、中間決算日が中間連結決算日と異なる会社については、各社の中間会計期間に係る中間財務諸表を使用している。

3 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社の中間決算日が中間連結決算日（9月30日）と異なる主な会社は次のとおりである。

中間決算日	会社名
6月30日	トヨタ モーター ファイナンス チャイナ(有)

中間連結財務諸表作成にあたっては、中間連結決算日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表を使用している。

4 在外子会社及び在外関連会社の会計方針に関する事項

在外子会社及び在外関連会社の連結にあたっては、原則として米国会計基準もしくは国際財務報告基準に準拠して作成された財務諸表を採用している。

5 会計方針に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

中間決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として個別法（海外連結子会社）により算定している）

時価のないもの

主として総平均法による原価法

②デリバティブ

時価法

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①賃貸資産

主としてリース期間満了時の処分見積価額を残存価額とする定額法によっている。なお、賃貸資産の処分損失に備えるため、減価償却費を追加計上している。

(ハ) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により計上している。

この他に保証業務から生ずる債権の貸し倒れによる損失に備えるため、保証履行に伴う求償債権等未収債権に対する回収不能見込額を過去の貸倒実績率等により見積り、計上している。

(ニ) 重要な収益及び費用の計上基準

①ファイナンス・リース

国内連結子会社

リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっている。

海外連結子会社

売上高を計上せず利息相当額を各期へ配分する方法によっている。

②オペレーティング・リース

リース料総額をリース期間に按分し毎月均等額を収益に計上している。

③融資

主として利息法（元本残高に対して一定の料率で計算した利息の額を収益計上する方法）によっている。

(ホ) 重要な外貨建の資産または負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理している。なお、在外子会社等の資産及び負債は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めて計上している。

(へ) 重要なヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

国内連結子会社は原則として繰延ヘッジ処理によっている。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっている。米国連結子会社については公正価値ヘッジ処理によっている。

②ヘッジ手段とヘッジ対象

当中間連結会計期間にヘッジ会計を適用した主なヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりである。

ヘッジ手段

通貨スワップ、金利スワップ

ヘッジ対象

借入金、社債

③ヘッジ方針

主に資金調達に係る金利及び為替リスクをヘッジする目的でデリバティブ取引を行っている。

④ヘッジ有効性評価の方法

・事前テスト

比率分析もしくは回帰分析等の統計的手法

・事後テスト

比率分析もしくは回帰分析等の統計的手法

(ト) 組替再表示

過年度の金額は、当中間連結会計期間の表示に合わせて組み替えて再表示されている。

(中間連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	1,006,884百万円	923,803百万円

2 偶発債務

トヨタ販売店及びレンタリース店等が一般顧客に割賦販売等を行うに当たり、連結子会社がトヨタ販売店及びレンタリース店等に対して保証業務として債務保証を行っている。

また、連結子会社以外のトヨタグループ会社が行った資金調達に対し、債務保証を行っている。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
連結子会社の営業上の債務保証	2,577,699百万円	2,688,484百万円
トヨタ ファイナンシャル サービス サウス アフリカ(株)	32,306	31,221
その他	11,957	10,712
合計	2,621,962	2,730,418

3 当座貸越契約及び貸出コミットメントに係る貸出未実行残高

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
貸出未実行残高	2,833,113百万円	2,921,732百万円

なお、上記当座貸越契約及び貸出コミットメントにおいては、信用状態等に関する審査を貸出実行の条件としているものが含まれているため、必ずしも全額が貸出実行されるものではない。

※4 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
営業債権	2,099,786百万円	1,898,363百万円
貸貸資産(純額)	290,872	365,831

担保付債務

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1年以内返済予定の長期借入金	971,021百万円	883,826百万円
長期借入金	909,679	845,554
1年以内償還予定の社債	3,400	3,038
社債	30,600	31,887

※5 ノンリコース債務

(1) 借入金に含まれるノンリコース債務

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
長期借入金(1年以内返済予定の 長期借入金を含む)のうち、ノン リコース債務	1,880,700百万円	1,729,380百万円

(2) ノンリコース債務に対応する資産

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
営業債権	1,946,229百万円	1,756,557百万円
貸貸資産(純額)	290,872	365,831

(中間連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
従業員給与・手当	41,285百万円	36,961百万円
貸倒引当金繰入額	48,007	48,054

※2 売上原価には、デリバティブ関連損益が含まれている。

	前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
デリバティブ関連損益	(損) 18,029百万円	(益) 15,210百万円

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	1,570,500	—	—	1,570,500

2 自己株式に関する事項

該当事項はない。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はない。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はない。

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

該当事項はない。

当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	1,570,500	—	—	1,570,500

2 自己株式に関する事項

該当事項はない。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はない。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はない。

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

該当事項はない。

(リース取引関係)

1 ファイナンス・リース取引

(貸手側)

(1) リース投資資産の内訳

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
リース料債権部分	502,121百万円	483,639百万円
見積残存価額部分	334,223	321,195
受取利息相当額	△69,024	△65,314
合計	767,320	739,520

(2) リース債権及びリース投資資産に係るリース料債権部分の中間連結会計期間末日後の回収予定額

リース債権

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1年以内	110,282百万円	102,629百万円
1年超2年以内	84,104	84,153
2年超3年以内	75,874	70,306
3年超4年以内	30,774	28,915
4年超5年以内	9,140	9,492
5年超	1,492	1,308

リース投資資産

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1年以内	187,694百万円	179,069百万円
1年超2年以内	143,704	135,804
2年超3年以内	101,372	100,206
3年超4年以内	48,377	47,420
4年超5年以内	18,217	18,285
5年超	2,754	2,853

2 オペレーティング・リース取引

(貸手側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
1年以内	675,800百万円	635,752百万円
1年超	685,321	643,271
合計	1,361,122	1,279,023

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていない((注2)参照)。

前連結会計年度(平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	318,665	318,665	—
(2) 営業債権 貸倒引当金(※1)	13,729,060 △126,598		
	13,602,462	13,607,533	5,070
(3) リース債権及び リース投資資産(※2) 貸倒引当金(※1)	716,622 △24,546		
	692,075	754,779	62,703
(4) 有価証券及び投資有価証券 (※3)	1,066,348	1,066,348	—
資産計	15,679,551	15,747,326	67,774
(1) 短期借入金	694,913	694,913	—
(2) コマーシャルペーパー	3,623,684	3,623,684	—
(3) 社債(※4)	7,869,770	8,074,534	204,763
(4) 長期借入金(※5)	4,875,448	4,885,781	10,333
負債計	17,063,817	17,278,914	215,096
デリバティブ取引(※6)			
① ヘッジ会計が 適用されていないもの	126,180	78,975	△47,204
② ヘッジ会計が 適用されているもの	2,224	10,910	8,686
デリバティブ取引計	128,404	89,885	△38,518

(※1) 営業債権、リース債権及びリース投資資産に対応する貸倒引当金を控除している。

(※2) リース債権及びリース投資資産は、見積残存価額を控除している。

(※3) 投資有価証券は、連結貸借対照表上投資その他の資産に含めて開示している。

(※4) 社債には、1年以内償還予定の社債及び社債を含んでいる。

(※5) 長期借入金には、1年以内返済予定の長期借入金及び長期借入金を含んでいる。

(※6) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務(△)は、純額で表示している。

また、連結貸借対照表計上額については、海外連結子会社の取引の一部につき関連する担保金額を控除している。

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	中間連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	238,212	238,212	—
(2) 営業債権	12,501,831		
貸倒引当金(※1)	△111,796		
	12,390,034	12,474,591	84,556
(3) リース債権及び リース投資資産(※2)	688,567		
貸倒引当金(※1)	△22,112		
	666,454	725,296	58,841
(4) 有価証券及び投資有価証券 (※3)	1,013,994	1,013,994	—
資産計	14,308,696	14,452,094	143,398
(1) 短期借入金	769,910	769,910	—
(2) コマーシャルペーパー	3,410,463	3,410,463	—
(3) 社債(※4)	7,067,619	7,283,063	215,443
(4) 長期借入金(※5)	4,370,828	4,392,476	21,647
負債計	15,618,822	15,855,913	237,091
デリバティブ取引(※6)			
① ヘッジ会計が 適用されていないもの	110,363	61,026	△49,337
② ヘッジ会計が 適用されているもの	2,072	12,984	10,911
デリバティブ取引計	112,436	74,010	△38,426

(※1) 営業債権、リース債権及びリース投資資産に対応する貸倒引当金を控除している。

(※2) リース債権及びリース投資資産は、見積残存価額を控除している。

(※3) 投資有価証券は、中間連結貸借対照表上投資その他の資産に含めて開示している。

(※4) 社債には、1年以内償還予定の社債及び社債を含んでいる。

(※5) 長期借入金には、1年以内返済予定の長期借入金及び長期借入金を含んでいる。

(※6) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務(△)は、純額で表示している。

また、中間連結貸借対照表計上額については、海外連結子会社の取引の一部につき関連する担保金額を控除している。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1) 現金及び預金

これらの時価は、帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっている。

(2) 営業債権、(3) リース債権及びリース投資資産

これらの時価は、主に債権額を満期までの期間及び信用リスクを加味した利率により割り引いた現在価値によっている。

(4) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価は、主に取引所の価格又は見積り将来キャッシュ・フローを市場利子率で割引く方法により算定している。

保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記参照。

負債

(1) 短期借入金、(2) コマーシャルペーパー

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

(3) 社債

社債については、主に入手可能であれば市場価格、不可能である場合は元利金の合計額を同様の社債を新規に発行した場合に想定される利率で割り引いて時価を算定している。

(4) 長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、T F Sグループの信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっている。固定金利によるものは、主に元利金の合計額を同様の新規借入において想定される利率で割り引いて時価を算定している。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記参照。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
非上場株式	38,404	40,619

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 有価証券及び投資有価証券」には含めていない。

(有価証券関係)

その他有価証券

前連結会計年度(平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
①株式	8,810	4,155	4,655
②債券			
国債・地方債等	100,806	100,140	666
社債その他	60,920	60,334	585
③その他	332,119	302,737	29,382
小計	502,657	467,367	35,290
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
①株式	—	—	—
②債券			
国債・地方債等	296,060	296,086	△25
社債その他	6,870	6,870	—
③その他	260,760	260,865	△105
小計	563,690	563,821	△130
合計	1,066,348	1,031,189	35,159

(注) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めていない。

当中間連結会計期間(平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	中間連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
①株式	6,006	3,604	2,402
②債券			
国債・地方債等	300,040	299,241	798
社債その他	36,507	35,817	689
③その他	258,230	231,862	26,367
小計	600,784	570,525	30,258
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
①株式	—	—	—
②債券			
国債・地方債等	6,928	6,928	△0
社債その他	10,893	10,902	△8
③その他	395,387	395,435	△48
小計	413,209	413,266	△57
合計	1,013,994	983,792	30,201

(注) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めていない。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度(平成28年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	21,820	—	△75	△75
	買建	396,234	—	△16,953	△16,953
	通貨スワップ取引				
	支払米ドル受取ユーロ	1,006,256	999,383	△50,898	△50,898
	支払米ドル受取豪ドル	241,221	241,221	△9,080	△9,080
	支払タイバーツ受取米ドル	566,703	446,335	46,749	46,749
その他	1,706,582	1,154,140	88,339	88,339	
	合計	3,938,819	2,841,080	58,080	58,080

(注) 時価の算定方法

主として将来キャッシュ・フローを見積もり、それを適切な市場利子率で割引く方法等により算定している。

(2) 金利関連

	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	金利スワップ取引				
	受取固定・支払変動	4,028,390	3,500,614	90,079	90,079
	受取変動・支払固定	10,002,165	6,225,873	△69,691	△69,691
	受取変動・支払変動	86,301	46,287	78	78
	オプション取引				
	売建キャップ	3,380	3,380	△0	△0
買建フロア	191,550	191,550	428	428	
	合計	14,311,786	9,967,706	20,894	20,894

(注) 時価の算定方法

主として期末日現在の金利等を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割引く方法等により算定している。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
公正価値 ヘッジ	通貨スワップ取引 支払米ドル受取日本円	社債	41,052	41,052	4,430
合計			41,052	41,052	4,430

(注) 時価の算定方法

主として将来キャッシュ・フローを見積もり、それを適切な市場利子率で割引く方法等により算定している。

(2) 金利関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	金利スワップ取引 受取固定・支払変動	社債 借入金	97,000	87,000	1,940
	受取変動・支払固定		10,000	7,000	△59
金利スワップ の特例処理	金利スワップ取引 受取固定・支払変動	社債 借入金	200,000	100,000	4,610
	受取変動・支払固定		6,000	—	△11
合計			313,000	194,000	6,480

(注) 時価の算定方法

主として期末日現在の金利等を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割引く方法等により算定している。

当中間連結会計期間（平成28年9月30日）

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	22,031	—	15	15
	買建	204,518	—	△2,975	△2,975
	通貨スワップ取引				
	支払米ドル受取ユーロ	903,023	673,526	△54,915	△54,915
	支払米ドル受取豪ドル	256,953	246,781	△5,286	△5,286
	支払タイバーツ受取米ドル	490,412	348,385	32,841	32,841
	その他	1,547,262	1,016,569	66,572	66,572
合計		3,424,201	2,285,263	36,252	36,252

(注) 時価の算定方法

主として将来キャッシュ・フローを見積もり、それを適切な市場利子率で割引く方法等により算定している。

(2) 金利関連

	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	金利スワップ取引				
	受取固定・支払変動	3,903,415	3,417,356	72,462	72,462
	受取変動・支払固定	9,454,147	5,870,882	△47,987	△47,987
	受取変動・支払変動	47,197	41,721	△85	△85
	オプション取引				
	売建キャップ	3,033	3,033	△0	△0
買建フロア	170,040	85,020	383	383	
合計		13,577,834	9,418,014	24,773	24,773

(注) 時価の算定方法

主として期末日現在の金利等を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割引く方法等により算定している。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
公正価値 ヘッジ	通貨スワップ取引 支払米ドル受取日本円	社債	36,841	36,841	7,789
合計			36,841	36,841	7,789

(注) 時価の算定方法

主として将来キャッシュ・フローを見積もり、それを適切な市場利子率で割引く方法等により算定している。

(2) 金利関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	金利スワップ取引 受取固定・支払変動	社債 借入金	32,000	32,000	1,594
	受取変動・支払固定		7,000	5,000	△43
金利スワップ の特例処理	金利スワップ取引 受取固定・支払変動	社債 借入金	124,000	44,000	3,648
	受取変動・支払固定		6,000	—	△4
合計			169,000	81,000	5,194

(注) 時価の算定方法

主として期末日現在の金利等を基に将来予想されるキャッシュ・フローを現在価値に割引く方法等により算定している。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1 報告セグメントの概要

T F Sグループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、マネジメントが、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

T F Sグループは、主に、割賦金融、リース取引、卸売金融、保険仲介等の販売金融事業を営んでおり、国内及び海外の連結子会社が独立した経営単位として、各国の市場環境に応じた事業活動を展開している。

従って、T F Sグループは国別のセグメントから構成されているが、米国及びカナダについては、経済的特徴等が概ね類似していることから「北米」とし、「日本」、「北米」、「オーストラリア」を報告セグメントとしている。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一である。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値である。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場の実勢を勘案した価格に基づいている。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額
	日本	北米	オーストラ リア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,210	642,661	52,386	769,258	171,384	940,643	—	940,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	435	485	1,127	11,893	13,021	△13,021	—
計	74,417	643,096	52,871	770,386	183,278	953,664	△13,021	940,643
セグメント利益	12,320	91,366	11,119	114,806	35,882	150,689	△3,336	147,352
セグメント資産	1,397,925	13,301,971	1,132,361	15,832,258	4,008,806	19,841,065	—	19,841,065
その他の項目								
支払利息	1,545	81,201	19,365	102,113	69,885	171,998	△6,827	165,170
減価償却費	2,636	321,507	14,041	338,185	14,546	352,732	15	352,747
貸倒引当金繰入額	2,362	23,040	3,038	28,440	19,566	48,007	—	48,007

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ及び中国等の連結子会社の事業活動を含んでいる。

2 調整額は、以下のとおりである。

(1) セグメント利益の調整額△3,336百万円は、主にセグメント間取引消去である。

(2) 支払利息の調整額△6,827百万円は、主にセグメント間取引消去である。

3 「売上高」には、受取利息がそれぞれ、「日本」4,988百万円、「北米」177,549百万円、「オーストラリア」41,553百万円、「その他」170,841百万円含まれている。

当中間連結会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額
	日本	北米	オーストラ リア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	76,610	605,200	44,431	726,241	139,839	866,080	—	866,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	194	1,278	572	2,046	9,725	11,771	△11,771	—
計	76,805	606,479	45,003	728,287	149,564	877,852	△11,771	866,080
セグメント利益	11,140	78,955	5,267	95,363	42,668	138,032	△4,221	133,810
セグメント資産	1,400,898	11,523,129	1,123,720	14,047,748	3,455,851	17,503,600	—	17,503,600
その他の項目								
支払利息	523	81,509	15,778	97,811	54,065	151,877	△5,192	146,685
減価償却費	2,470	302,828	11,976	317,275	11,264	328,540	12	328,552
貸倒引当金繰入額	3,435	27,114	2,396	32,947	15,107	48,054	—	48,054

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイ及び中国等の連結子会社の事業活動を含んでいる。

2 調整額は、以下のとおりである。

(1) セグメント利益の調整額△4,221百万円は、主にセグメント間取引消去である。

(2) 支払利息の調整額△5,192百万円は、主にセグメント間取引消去である。

3 「売上高」には、受取利息がそれぞれ、「日本」4,658百万円、「北米」153,096百万円、「オーストラリア」35,703百万円、「その他」138,591百万円含まれている。

関連情報

前中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	米国	その他	合計
74,210	614,162	252,269	940,643

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

日本	米国	その他	合計
6,119	4,170,721	190,085	4,366,925

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はない。

当中間連結会計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
76,610	580,549	208,921	866,080

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	その他	合計
5,901	3,816,650	177,417	3,999,968

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はない。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はない。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はない。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はない。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎ならびに1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成28年9月30日)
(1) 1株当たり純資産額	1,372,219円52銭	1,312,599円97銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(百万円)	2,173,667	2,079,142
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	18,597	17,704
(うち非支配株主持分(百万円))	18,597	17,704
普通株式に係る中間期末(期末)の純資産額 (百万円)	2,155,070	2,061,438
普通株式の発行済株式数(株)	1,570,500	1,570,500
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末(期末)の普通株式の数(株)	1,570,500	1,570,500

項目	前中間連結会計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
(2) 1株当たり中間純利益金額	69,939円35銭	62,334円22銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益金額(百万円)	109,839	97,895
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益金額(百万円)	109,839	97,895
普通株式の期中平均株式数(株)	1,570,500	1,570,500

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項はない。

(2) その他

該当事項はない。